



# 新井っ子 つよい子 できる子

新井小学校たより 11月号

平成30年11月22日

HPアドレス <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/arai-s/>

## よりよい授業づくりで新井っ子をしっかりと伸ばす

校長 川住晴彦

妙高山の初冠雪からだいぶたちましたが、暖かい日があったり、冷たい風が吹いたり……。今年は暖冬少雪との予報もありますが、はてさて、どんな冬になるのでしょうか。

さて、2学期もいよいよ最後の月を迎えます。新井小学校では、すべての教員が授業を公開し、職員間で観察し合い、よかった点や改善点などを指摘し、共有することで、よりよい授業になるように研修を進めています。

2学期も多くの授業が公開されましたが、その中からよかった点と今後の課題とされる点をいくつか紹介します。

<よかった点>

### ①子どもに関すること

- ・全体として落ち着いていて、男女の仲がよいのが分かる。
- ・姿勢がよく、教師の話をしっかりと聞こうとしている。また、聞いている。
- ・表情が豊かで、明るい。
- ・はじめがある中で、教師の発問などに、よい反応ができています。
- ・「～です。」と、単語で終わらずに、文で話せるようになった子どもが増えている。

### ②教師に関すること

- ・授業の流れをホワイトボードなどで示し、子どもに見通しを持たせている。
- ・子どもに対する指示や発問が明確である。
- ・子どもの反応(うなずきやつぶやきなど)を、授業の展開に生かそうとしている。
- ・子どもの興味や関心を引きつけるような話し方や間の取り方などがうまい。

<今後の課題など>

- ・相手の発言や発表を聞いて、子どもが自分なりの考えや思いをもち、さらに自分の考えを深めること。
- ・発表を苦手とする子どもの出番を考えて、それぞれに自分の思いを発表できるようにすること。
- ・子どもへの説明を簡潔明瞭にして、子どもの反応を引き出し、響かせて授業を展開すること。
- ・子どもの反応を促して、「対話のある授業」となるように工夫すること。

子どもが分かる・できるようになる授業をするのが教師の務めです。新井小は、新採用者が毎年のように2名ずつが入ってきます。もちろん経験年数だけで左右されるわけではありませんが、ベテランや中堅から若手まで、それぞれの持ち味を生かし、互いのよさを発揮しながら、切磋琢磨してよりよい授業づくりを進めていきます。

師走を迎えます。みなさま、お風邪など召しませんように。



<2の3 国語科研究授業より>

# 図書館教育～本の世界を広げよう！伝えよう！～

新井小学校の学習メディアセンター(学校図書館)では、児童の読書習慣を身に付けさせ、様々な取組をしています。

11月9日(金)から11月20日(火)までは児童の読書機会を増やし、本の良さを知ってもらおうと「図書館まつり」を設定しました。今回は、その取組の中から、3つの内容を紹介します。

## <秋のお話会>

新井小学校では、地域の方や保護者の方による図書館ボランティアが活動しています。今回は「秋のお話会」ということで、ボランティアの皆さんは何度も練習を行い、準備を進めていました。

今年は、ペープサートを使った『へびくんどうなっちゃうの?』と、劇を取り入れた『十二支の話』の2つの話を読み聞かせしてくださいました。児童は、次にへびくんにかかることを予想したり、いろいろな動物が出てくると歓声を上げたり、楽しそうに聞いていました。



児童は、お話会スタッフの皆様へ感謝の気持ちをこめて、ハイタッチでお別れをしました。

この日の給食は、お話会とコラボして「ねこまんま・牛乳・わたしは何番目?揚げ・へび君の木登りサラダ・へび君に起こったことスープ」というメニューでした。

お話会を振り返りながら、おいしくいただく不思議なメニューは、格別の味でした。



へびくん、全然木に登れません。いったい、どうなっちゃうの～?



子：イエーイ！いっちばーん！  
牛：え～。ぼくは二番か～。  
こうして干支はできたのね。

## <図書委員会による活動>

「図書館まつり」に合わせて、図書委員会でもいくつかの活動を実施しました。全校のみんなが本に親しめるように、2つの活動を行いました。

### ①ブックボックス

おみくじのように、中が見えない箱から本を取り出して借りることができる「ブックボックス」を作りました。中に入れる本は、図書委員会が学年に合ったものを選びました。

休み時間は、どんな本が出てくるのかワクワクしながら、楽しそうに手を入れる児童の姿が見られました。「こんな本が出たよ！」と教えてくれる児童は、読んだことのない本に出会う楽しさを感じているようでした。



休み時間にメディアセンターを利用する人が増えました！

## ②好きな本アンケート

各クラスに「好きな本」を書いてもらうアンケートを実施し、この結果を基に、新井小学校の「好きな本ランキング」を作ります。図書委員会で集計した後、結果を12月に発表する予定です。それを見て、読んだことのない本にぜひ手を伸ばしてほしいと考えています。

## <ファミリー読書>

家族と読書を楽しむ、「ファミリー読書」を行いました。今回は、学校で借りた本を持ち帰り、家で家族と一緒に読むことを呼びかけました。児童は、「だれと」「どんなことをしたか」をカードに記録しました。その中からいくつかを紹介します。



- ・同じ時間に家族で別の本を読む。
- ・自分の薦めた本と一緒に読んでもらう。
- ・一文読みを親子でする。・親子で読み聞かせをし合う。
- ・なぞなぞの本で問題を出し合う。
- ・同じ本を読んで感想を話し合う。
- ・時間をはかって読む速さを競争する。

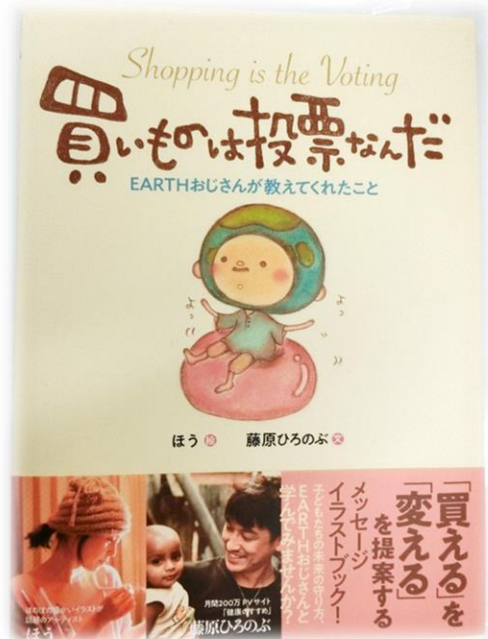
親子だけでなく、兄姉と読み聞かせを楽しんだ児童もいました。一人でじっくり読むのもよいものですが、誰かと一緒に読むことの楽しさを知るよい機会となったようです。

## 本を寄贈していただきました

今回、新井小学校区にお住まいの方から、本を寄贈していただきました。「買い物は投票なんだ EARTH おじさんの教えてくれたこと」(文 藤原ひろのぶ、絵 ほう) という本です。

この本は、環境問題について分かりやすくまとめられている絵本です。私たちが普段食べている物、使っている物は、実は環境に大きな影響を与えているのだということ。恵まれた生活の裏では、いろいろな物が必要以上に搾取されたり、使われないまま捨てられたりしているということ。子どもたちが、自分の生活について考えるきっかけになる一冊です。

本と一緒にお手紙もいただきました。「教育の現場で役立てていただきたい」という思いから本を贈ってくださったそうです。この本は、メディアセンターに置き、児童が借りることができるようにしました。たくさんの児童がこの本を手にとって、自分の生活について考えてほしいです。





# 大成功！若竹フェスティバル

10月27日(土)の若竹フェスティバルには、多くの皆様から子どもたちが生き生きと活動する姿をご覧いただきました。ありがとうございました。



音楽発表会では、各学年それぞれのもち味を存分に発揮した発表となりました。子どもも職員も鑑賞した保護者、地域の方も、みんなが一緒になって音楽を楽しみました。



グランドゴルフに初挑戦！



P T A 作品展



児童絵画作品展



やったね！火山灰から宝石を見つけたよ。

各学年の絵画作品、PTA作品は、どれも作り手の思いが伝わってくる見応えのあるものでした。子どもたちをはじめ、多くの人がじっくり鑑賞し続ける姿が見られました。

「若竹キッズ☆トライ広場」では、新井中学校科学部、国立立山青少年自然の家、わくわくランドあらい、理科センター、県立歴史博物館、上越教育大学の院生、バルーンアート講師、地域の方やPTA役員の方から活動を指導・支援していただきました。子どもたちは、普段できない活動を伸び伸びと楽しんでいました。

**音楽発表会の様子は、以下の予定で JCV にて放映されます。どうぞ、ご覧ください。**

- ・ 11月25日(日) 19:00～
- ・ 12月5日(水) 9:00～
- ・ 12月13日(木) 15:00～
- ・ 12月22日(土) 21:00～